



市民参加の時期と方法は？

市民の皆さんとともにまちづくりを進めるためのルールである「江南市市民参加条例」について説明します。

今回は、市民参加とは何かです。

市民参加とは、具体的な施策や事業の計画段階で市民の皆さんの意見や提案を求め、それらを実際の施策などの案に反映させていくことです。ですから、市民参加を行う時期は、当然のことながら、その施策や事業を決定する前ということになります。

それでは、決定前ならいつでもよいのでしょうか。仮に、最終案を決定する直前に市民参加を行ったとしても、すでに大幅な事業の変更や修正は困難ですから、意見を反映させる余地はあまり残されてい

ません。十分な市民参加を行っていくためには、その施策についての判断材料を提供できる段階で、なるべく早い時期から実施することが必要になります。

市民参加の方法としては、条例上、次の6つの方法が規定されています。

- ① 審議会等
- ② パブリックコメント
- ③ 市民懇談会
- ④ ワークシヨップ
- ⑤ アンケート
- ⑥ 市民政策提案

これらの方法のうちから、対象となる施策や事業の性質、影響、市民の皆さんの関心度などを考慮しながら、それぞれの施策や事業に適した方法で実施し、市民の皆さんの意見や提案を反映していくことがよりよいまちづくりのために、非常に大切なことなのです。



問合せ 地方創生推進課（内線323）